

地方創生・公共交通対策特別委員会 県外行政調査

1 調査日 令和7年10月20日（月）～21日（火）

2 調査の概要

（1）10月20日（月）

○広島大学半導体産業技術研究所（広島県東広島市）

広島大学半導体産業技術研究所は、最先端の半導体デバイスや材料等の研究開発において優れた研究成果を達成している。また、基礎研究だけでなく、デバイスの試作を通じて実証を行うことができる研究環境を整備することで、学術研究と実デバイス作成の両方を経験し、高い能力を身につけた人材育成にもつなげている。

本委員会では、「成長が見込まれる分野の研究、技術開発と滋賀の強みを生かした産業立地について」を重点調査項目としており、半導体の研究活動を通じた高度人材育成と先端技術開発について今後の委員会活動の参考とするため、同研究所の取組について調査を行った。



○株式会社広島テクノプラザ（広島県東広島市）

株式会社広島テクノプラザは、研究室および研究開発機器の効率的な活用、適切な技術情報の提供等、企業の研究開発力の向上の支援を行っている。また、技術者の資質向上と研究開発能力を誘起する実践的な研修事業も展開している。

本委員会では、「成長が見込まれる分野の研究、技術開発と滋賀の強みを生かした産業立地について」を重点調査項目としており、企業の技術高度化、研究開発のサポートの取組について今後の委員会活動の参考とするため、同社の取組について調査を行った。



(2) 10月21日(火)

○両備ホールディングス株式会社（岡山県岡山市）

両備ホールディングス株式会社は、バス、タクシー、鉄道、フェリー、トラックなどあらゆる交通モードを保有する交通・運輸事業者で、ユニークな取組を次々と打ち出し、地域社会と連携しながら地域公共交通の利便性向上等に取り組んでいる。

本委員会では、「将来に向けた地域公共交通のあり方について」を重点調査項目としており、地域公共交通の利便性向上等に向けた取組について今後の委員会活動の参考とするため、同社の取組について調査を行った。

